

平成 23 年 1 月 27 日(木曜日)

教育以上に採用大切

講演会 能動的な研修推奨

宮倉協

【宮城】宮城県倉庫協会(黒川久会長)と東北倉庫協会連合会(同)は21日、新春物流講演会を開き、日本ロジファクトリーの青木正一社長が「物流業における人材育成」をテーマに講演した。

青木氏は業種を物流企業に特定し①人を育てる環境戦略②管理職の業務内容と育成すべき能力③社員・パ

ートの管理方法と育成——を具体的に説明。人を育てる環境戦略の中で、人材育成では「教育や人の生かし方も重要だが、それ以上に大切なのは前段階の『採用』だ」と結論付けた。良い人材であれば教育しやすく、能力を生かすことができる」と指摘。面接では「面接者を誰にするかが重要。履歴書を丹念に読み込むことも

大事」と強調した。

また、物流企業が抱える問題点として「人が育たない」「採用できない」「辞めていく」を挙げ、教育研修制度がなくて人を育てられず、良い人材を受け入れる土壌・制度がないために採用できない。また、正当な評価をせず、活躍する場がないために辞める人材をつなぎ止められない——と分析。教育では、研修の仕方について「受講者が一方的に

『受け身』になる研修は意味がない。能動的に参加する研修にすべき」とアドバイスし、ディスカッションのような研修を推奨した。管理者の条件については

①ミニ経営者である②数字が共通語③現場とのコミュニケーション——とし、信頼できる上司とできない上司の事例を挙げて管理者像を説明。

また、顧客満足度(CS)を高めるには、従業員満足度(ES)を高めることが肝要で、モチベーションを上げるために、減点評価ではなく加点評価が有効などとアドバイスした。

(黒田 秀男)